

令和7年度 第3回 学校運営協議会 議事録

校名	府立園芸高等学校
校長名	竹田 賢司

開催日時	令和8年2月24日(月) 15時30分～17時15分
開催場所	本校会議室
出席者(委員)	中桐 委員、小南 委員、磯村 委員、上田委員、石田 委員、山中 委員
出席者(学校)	竹田 校長、福永 教頭、太田 首席、平尾 首席、湯谷 教諭(フラワーファクトリ科長)、落田 教諭(環境緑化科長)、金沢 教諭(普通科長)、島本 教諭(書記) 中原 教諭(書記) 那須 教諭(書記)
傍聴者	なし
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度 学校経営計画および学校評価 ・令和8年度 学校経営計画および学校評価 ・令和7年度 各分掌等の取組目標・評価 ・令和7年度 卒業生 進路状況 ・学校教育自己診断 ・令和8年度 使用教科書について ・授業アンケートについて
備考	

議題等(次第順)

- (1) 令和7年度 学校経営計画および学校評価
- (2) 令和8年度 学校経営計画および学校評価
- (3) 令和7年度 各分掌等の取組目標・評価
- (4) 令和7年度 卒業生 進路状況
- (5) 学校教育自己診断について
- (6) 授業アンケートについて
- (7) 令和8年度の使用教科書について
- (8) その他

協議内容・承認事項等(意見の概要)

・保護者からの意見書提出はなし。(2026年2月24日時点)

- (1) について
- ・授業内容と興味関心において0.01ポイント向上した。
 - ・カウンセラーとの連携をとり、生徒のサポートを最大限にできた。
 - ・同窓会より支援を受け、学校案内パンフレットを刷新することができた。
 - ・京都教育大学などはじめ、大学への合格、進学者数が増加している。進学・就職に関わらずより実績の向上に努める。
 - ・授業アンケートにおいて、必要な学習課題ができていないかの項目において0.02ポイントの減少が見られた。基本的な学力の定着を図るとともに、規律ある学校生活の確立を目指す。
 - ・出願者の定員割れが続いている。魅力発信と同時に学校の出口保障など令和8年度の学校経営計画の改善点としていく。

質問・コメント

- Q(委員) 校長挨拶時のベルギーからの視察と学校案内パンフレットの刷新と因果関係はあるか。
A(校長) なさそうである。HPを見たとの返事があった。
Q(委員) 英語等の少人数授業の内容について
内容は省略、太田主席が解答した。
Q(委員) スクールカウンセラーについて、転退学者とその理由
A(校長) ケースバイケースであり、カウンセラーが必要と判断した場合は活用している。転退学者の多くは欠時数の積み重ねである。

- (2) について
- ・令和8年度案について、令和7年度と大きな変更はない。生徒が卒業時に園芸高校でよかったと思えるよう、校内での指導の充実を図っていく。
- 令和8年度は5つの念頭において作成
- ア 基礎学力の定着
イ 成果発表の場の創出、園芸高校らしさの発信
ウ 進路保障
エ 規律ある学校生活の確立
オ 国際交流
- ・課題が残った授業アンケートの項目の改善に取り組む。
 - ・中期的目標は令和7年度と変更なし。
- Q(委員) 卒業研究発表会の内容は素晴らしい。提案として、卒業研究発表会の様子もYouTubeなどのSNSを活用して情報発信してみてもどうか。テレビに取り上げられた活動についてもっと池田市の広報や・テレビ局との連携を強化してみてもどうか。
A(湯谷) テレビ番組の内容の事前告知は放送内容の変更の可能性がある、制限がある。
Q(委員) 園芸高校は目的意識がはっきりしている。基礎学力の定着として中学校の教科書レベルでも問題を繰り返し解かせることで「できるようになった」と成長を感じられる方法もある。
A(校長) 外部模試なども活用できれば

<p>(3) について</p> <p>教務部より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績の確認の徹底する。 ・カリキュラムの細かな変更も魅力の発信につなげたい。 <p>進路指導部より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国公立大学、斡旋就職について のちほど説明する。 <p>生活指導部より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・懲戒件数や遅刻者総数など現状を提示。 <p>保健部より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校および生徒の健康について活動している。 <p>フラワーファクトリ科より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年の3年生の評価が高かった。それにともない今年度は目標をやや下回る結果となった。 ・入学志願者数の倍率も目標の1.1倍には至らなかった。 ・外部連携件数は増加している。しかし、外部連携活動を十分に発信するに至らなかった。日々の業務のとのバランスをとりたい。 ・4年連続で国公立大学への合格者が出ている。 <p>バイオサイエンス科より</p> <p>資料提示</p> <p>環境緑化科より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路に応じた指導を行っている。1クラスだが、4年生大学への進学者数は他科とほぼ同数である。 ・入学志望者数の定員割れが続いている。 ・造園系の資格では高い合格率であった。難関資格にも挑戦させ、就職に繋げている。 <p>普通教科より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業アンケートで昨年よりもポイントの向上が見られ、来年度も魅力ある授業づくりに努める。 ・検定を計画するも希望者数が集まらず実施に至らず。 ・スタディーサプリは新1年生より廃止。学習成果は引き続き記録していく。 <p>各学年より</p> <p>2年生は令和7年12月に久米島へ3泊4日の修学旅行に行った。</p> <p>他、割愛。</p> <p>Q (委員) 次年度入学者志願状況について、定員割れが見込まれるか。</p> <p>A (教頭) 兵庫県からの志願者数は未定、現状は定員割れの見込み。</p> <p>A (委員) 受験生の確保に努力をしていただきたい。</p> <p>(委員) 私学の無償化もあり、公立高校を選択する中学生は極端に減少している。園芸高校を卒業すると将来にどのようにつながるのかをアピールしていきたい。</p>	
<p>(4) について</p> <p>資料の提示。近畿大学、龍谷大学への合格者もあり。</p>	
<p>(5) について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒332人より解答があった。 ・19問中90%以上は4問、80%を超えたものが13問あった。生徒からの評価は高い。 ・教員を対象としたアンケートでも一部の特色に関する設問で100%がでた。 <p>Q (委員) 次回の調査で100%を下回らないようにしてほしい。</p> <p>A (校長) 英語科の教員の目線から、すごいと思うことがよくあった。他の先生も同じではないか。</p>	
<p>(6) について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常に高い数値での解答であった。有意義である。 <p>(7) について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全会一致で学校へ一任 <p>(8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 	
<p>次回の会議日程</p>	
日時	令和8年6月
会場	大阪府立園芸高等学校